

会員の皆様

今年の学術集会まで残すところ1か月と少しになりました。

事務局を務めてくださっている共和病院の方のご活躍で盛大な会になりそうです。

次の記事は、その共和病院の職員である古橋さんからの投稿です。下総精神医療センターで5日間の実地研修を受けた感想を早くにお送り下さってありがとうございました。細部の確認のために掲載が今回になりました。

下総精神医療センターでのCRCT実地研修を受けて

患者様の人生を支えるCRCT

～見方が変わった5日間～

特定医療法人共和会共和病院

作業療法士 古橋 雅美

平成30年9月10日～14日の5日間、条件反射制御法実地研修に参加させていただきました。

私が勤務する共和病院では、平成27年5月より条件反射制御法を用いた治療を行っていますが、医師と看護師が中心となって行っているため、作業療法士である自分が実際に関わる場面はほとんどありませんでした。しかし、私が個人作業療法を受け持っていた患者様が、平成28年5月よりこの療法に取り組み始めたことをきっかけに、「制御刺激」や「疑似」「想像」といった当療法の実際の治療に触れる機会に恵まれました。

最初に「疑似」を見学した際は衝撃的でした。15年以上自傷を継続している患者様でしたが、刃を抜いたカミソリで手首を切る真似をし、そこに赤インクやケチャップを垂らして出血に見立てているのを見て、内心「まごともいたい…。こんな治療で治る訳がない…。」と思いました。しかし疑似に取り組んでいる患者様の表情にみるみるニヤニヤとした笑みが浮かび、饒舌に話し始めるのを見て、「何だ、これは…。」と、その時は、理由はわからないながらも、反応の激しい表出に本当に驚きました。ちなみに、この患者様は無事退院され、その後再入院されることもなく、生活を送られています。

それから、機会があると院内の勉強会に出席し、理論等を勉強させていただきました。そして、今回、私の所属する部署から当研修へ参加させていただく機会を得たため、「実際に患者様の治療に関わったことのない私が受講してもよいのだろうか？ついていけるのだろうか？」という大きな不安を抱えながらも、参加させていただきました。

実際の研修は、朝の申し送りから終業まで、びっしりとカリキュラムに沿って行われます。実地研修ということで、患者様への実践が主となり、最初はとても不安でしたが、指導者の方が常に傍で見守って下さり、わからなければ見本を見せて、的確なアドバイスを下さるため、安心して取り組むことができました。また、平井先生をはじめとした病棟の全スタッフが、例えばステージの設定や同伴疑似、テストの実施など、治療の各場面で必ず声を掛けて下さるなど、病棟全体で研修を支えて下さっているという暖かな雰囲気が常に感じられ、頑張る原動力となりました。本当に感謝しております。

研修の中で改めて実感したのは、入院から退院までの治療工程が、理論に基づいてきっちりと体系的に進められていることです。今まで、勉強会等で、治療の各ステージについては学んでおり、自分なりになぜやるのかを理解していたつもりでしたが、どちらかというところ暗記の知識であり、「なぜ、ここでこれをやるのだろうか？」など、細かな疑問も持っていました。しかし、研修で実際の治療とそれに伴う患者様の反応を観察する中で、「だから、ここでこの治療をやるのか！」と、実感として自分の中に落とし込むことができました。研修の中で、自分の中で曖昧だった知識が、一つ一つ確信に変わっていく体験ができ、純粋に「楽しいなあ」と感じることができました。

また、研修中に平井先生の外来を見学させていただきましたが、そこでの先生と患者様や御家族とのやりとりを見て、「これも含めて『条件反射制御法』なのだ」と強く感じました。外来では「もうそろそろ仕事を探そうと思っている。」と明るい表情で報告される方がいる一方で、「生活リズムが崩れてきた。」と、御家族とともに相談に来た方、また不調の患者様を心配する御家族のみで来られた方など、さまざまな方がみえましたが、皆共通して明るい表情をされており、先生との強い信頼関係を感じました。診察の中で、生活リズムを立て直すための施設を紹介している姿を拝見したり、刑務所で服役中の患者様に先生が出された手紙をみせていただいたりして、その「どんな状況でも患者様を支える」という先生の姿勢が、患者様との強固な信頼関係を構築し、治療を支えているのだと実感しました。

私は今まで10年以上精神科で作業療法士として従事してきた中で、主に第二信号系への働きかけを行ってきました。条件反射制御法を学ぶ中で、第一信号系へ

の働きかけを主とするこの療法の理論や有効性はとても理解できる一方で、「でも、人間なのに…」と、どこか釈然としない気持ちがあったことも事実です。しかし、この外来での体験から、制御刺激をはじめとした、各ステージでの第一信号系にある逸脱行動の反射連鎖を弱める治療だけを重視している訳ではなく、麻薬取締官との面接や反射連鎖が弱まった後に行われる内観療法、退院後の治療動機の支持といった第二信号系への働きかけも大切にしている治療理論なのだと実感し、一層取り組む気持ちを強くしました。

研修から1か月を経過し、現在、少しずつではありますが、実際の治療に関わるようになりました。まだまだ補助的な立場ですが、今回の研修で学んだことを生かして患者様に寄り添っていきたいと思います。最後になりましたが、平井先生をはじめ、今回の研修を支えて下さった下総精神医療センターの皆さまに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

(2018年10月21日寄稿)

事務局からのお知らせ

CRCTを受けられる施設を公開します。

条件反射制御法を受けたい方に、どこにいけばこの技法が受けられるかを伝えるために、本学会のホームページ等でCRCTを受けられる施設を公開します。

ご協力下さる方は次を学会事務局までメールでお送り下さるようお願いいたします。

1. 貴施設の名称 所在地 電話番号
2. 貴施設の種類
例：クリニック、病院、回復支援施設、相談所、刑務所、少年院、
保護観察所、その他
3. 貴施設で条件反射制御法を受けるための申し込み方法
4. 貴施設で行う条件反射制御法
例：全てのステージ、制御刺激のみ、維持ステージのみ、
その他にもあれば記載してください。
5. 貴施設で条件反射制御法を用いて対応する疾病
例：物質使用障害、病的窃盗、性的加害行為、
その他にもあれば記載してください。

6. 貴施設での条件反射制御法適用症例数

過去1年間に条件反射制御法を開始したおおよその症例数

選択：0例、1～10例、10～50例、50例以上

条件反射制御法学会のご案内

- ・条件反射制御法学会第八回学会（主催：条件反射制御法学会）
2019年10月5日（土）会場：名古屋 ウィンクあいち
現地事務局：特定医療法人共和会（愛知県大府市）
参加受付中です。下のURLで、申込みのページが開きます。

<https://crct-mugen.jp/meeting/%e7%ac%ac%e5%85%ab%e5%9b%9e%e5%ad%a6%e8%a1%93%e9%9b%86%e4%bc%9a/>

第一期申し込み期間中（～9月20日正午）に申し込みをされた方は、その後の申込みより参加費が安くなります。

条件反射制御法に関する研修会・研究会・実地研修等のご案内

- ・条件反射制御法実地研修（主催：下総精神医療センター）
2019年11月25日（月）～11月29日（金）受付中
2019年12月16日（月）～12月20日（金）満席
2020年1月27日（月）～1月31日（金）受付中
2020年2月17日（月）～2月21日（金）受付中
実施場所：下総精神医療センター

- ・第11回 薬物乱用対策研修会（主催：下総精神医療センター）
2019年11月13日（水）から15日（金）まで終日3日間
会場：下総精神医療センター
参加受付中です。下のURLで、申込みのページが開きます。

https://shimofusa.hosp.go.jp/training/yakubutu/noll_index.html

- ・第一回 条件反射制御法 韓国研修会（主催：条件反射制御法学会）
2019年12月7日（土）会場：韓国 大同病院
現地事務局 大同病院（韓国釜山広域市 東萊区 明倫洞 530-1）
研修会の講義は日本語と韓国語でなされます。
前日の12月6日は大同病院の見学会が午後2～5時まであります。
日本の方も参加をご検討下さい。

- ・第五回 条件反射制御法 関西研修会（主催：条件反射制御法学会）
2020年 1月11日（土） 会場：大阪
現地事務局 一般財団法人成研会 結のぞみ病院
開催日が2019年12月21日（土）から上に変更されました。
- ・第12回 条件反射制御法研修会（主催：下総精神医療センター）
2020年 2月 6日（木）13:00～17:20
2月 7日（金） 9:00～13:00
会場：下総精神医療センター
- ・第一回 条件反射制御法 北陸研修会（主催：条件反射制御法学会）
2020年 3月頃 会場：富山
現地事務局 特定非営利活動法人愛和報恩会

条件反射制御法やその基盤理論に基づく報告や講演がある学会のご案内

- ・日本デイケア学会第24回年次大会札幌大会
現場で使える条件反射制御法
2019年 9月14日（土） 13:00-17:30 会場：北星学園大学
講師：長谷川直実 平井慎二 村山ひとみ 田原和代
次のURLで、詳細を記した頁が開きます。
<https://daycare24sapporo.jp/program>
- ・日本犯罪社会学会 第46回大会
2019年10月19日あるいは20日 会場：淑徳大学（千葉市）～
 - ・反復違法行為者に対する治療の義務付け（ミニ シンポジウム）
報告者：尾田真言、長谷川直実、小早川明子、市川岳仁
 - ・受診者の薬物規制法違反への医療者等による対応（ラウンド テーブル）
報告者：平井慎二、白川雄一郎
 次のURLで、詳細を記した頁が開きます。
<http://hansha.daishodai.ac.jp/meeting/index.html>

∞メールへのご投稿

皆様からC R C Tや信号系学説に関係する小論、C R C Tを用いての治療体験あるいは回復した体験、実地研修の体験、他の学会で報告した感想、裁判でC R C Tの効果が認められた体験等に関して1600字程度の報告をお待ちしております。学会事務局で選出して掲載いたします。

事務局宛て（info@crct-mugen.com）にご投稿ください。

お詫び

当学会の会誌である条件反射制御法研究の発行を年度末に予定しておりましたが、遅れております。皆様にご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。

学術集会前には発行の予定です。

発行

NPO法人 アパリ内
条件反射制御法学会事務局

<http://crct-mugen.jp/>